

みやざきで 農業 はじめよう

宮崎県新規就農相談センター

総合窓口：(公社)宮崎県農業振興公社

分室：(一社)宮崎県農業会議・JAみやざき

宮崎県農業の概況

農業は、宮崎県の重要な基幹産業です。温暖な気候を利用して、多種多様な作物が作られています。

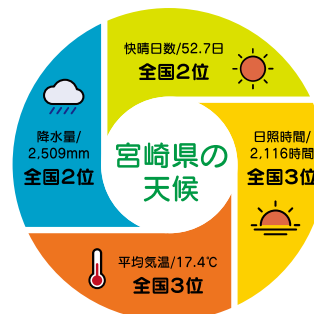
農作物では、ビニールハウスを利用した「きゅうり」や「ピーマン」が、畜産物では、宮崎牛をはじめとする肉用牛や豚、ブロイラー（にわとり）が、全国でもトップクラスの産地となっています。

これらの農畜産物は、東京、大阪などの大都市へ主にトラックやフェリーを使って出荷されています。



主な農畜産物と生産量

 米 69,700トン 全国34位 (R6)	 きゅうり 58,700トン 全国1位 (R6)	 ピーマン 24,300トン 全国2位 (R6)	 にら 2,850トン 全国6位 (R6)	 ミニトマト 8,640トン 全国5位 (R6)	 マンゴー 1,256トン 全国2位 (R5)	 きんかん 2,734トン 全国1位 (R5)	 日向夏 3,148トン 全国1位 (R5)
 かんしょ 77,300トン 全国4位 (R6)	 茶 2,640トン 全国5位 (R6)	 スイートピー 2,595トン 全国1位 (R5)	 ランキュラス 140万本 全国3位 (R5)	 肉用牛 248,400頭 全国3位 (R7)	 乳用牛 12,400頭 全国13位 (R7)	 豚 721,900頭 全国3位 (R6)	 ブロイラー （にわとり） 2,816万羽 全国2位 (R6)



（宮崎市、昭和56年～平成22年の平均値）
資料：気象庁「日本気候表」

令和6年次新規就農者は321人
新規参入52人 後継者56人 法人就農204人

宮崎県の農業産出額

令和6年 宮崎県における産出額上位10品目（単位：億円）

肉用牛	797
ブロイラー	756
豚	580
米	237
きゅうり	208
ピーマン	119
生乳	88
鶏卵	82
かんしょ	74
トマト	64

農業産出額
全国7位!!



就農までの道すじ



就農相談・体験

研修・就農準備(1~2年)

幅広く相談・情報収集

→ P.3へ

- ・なぜ農業をはじめたいのか
- ・地域特徴についての情報収集
- ・経営作物、栽培方法、栽培規模、販売方法などの情報収集
- ・農地、施設、資金などの情報収集
- ・家族への相談
- ・自己資金の準備
- ・就農の問題点の明確化
- ・活用できる制度、資金の情報収集

就農相談窓口で相談

詳細は裏表紙

- ・農業振興公社、農業会議、JAみやざき本店
- ・県内市町村相談窓口
- ・西臼杵支庁、各農林振興局
- ・JAみやざき各地区本部
- ・県内農業委員会相談窓口
- ・県外相談窓口



就農相談会等、就農イベントへ参加

体験・現地見学・短期研修

→ P.3へ

現地視察や農業体験を行い、ご自身の持っている農業のイメージと合っているか確かめましょう。

- 研修施設の視察・農業体験
- 農家や農業法人での体験、アルバイト等



就農ビジョンを明確にする

→ P.3へ

起業し経営者となるか、農業法人等へ就職し、農業に携わるかこれから目指す道すじを固めましょう。

農業法人等へ就職

独立・自営就農をめざす

就農準備の計画を立てる

→ P.3へ

就農ビジョンを描いたら、そのための準備をいつどのように進めるか計画しましょう。

就農に必要な6つの要素

- ① 技術の習得
- ② 農地の確保
- ③ 資金の確保
- ④ 農業機械・施設等の取得
- ⑤ 労働力
- ⑥ 住居の確保

研修先の選定・研修開始

→ P.4へ

栽培や、経営管理など農業経営に関わる技術や知識を習得しましょう。

研修の種類

- 宮崎県立農業大学校での研修
- みやざき農業実践塾での研修
- 各市町村やJA等が運営する研修



営農計画、資金利用計画

→ P.6へ

農地や施設・機械を確保しながら、就農計画の作成をすすめていきます。

就農計画や資金

- 青年等就農計画
- 青年等就農資金



就農準備

→ P.6へ

主な準備の内容

- 農地、住居の確保
- 農業機械、施設等の取得
- 制度資金等の利用
- 部会、販売組織への加入



農業経営の開始

独

立・自営就農者をめざしたい ~なぜ農業をはじめたいのか



農業の道に進む前に、どうして農業を始めたいの考えてみましょう

植物や動物が好きだから

農業は単に植物や動物を育てるだけでなく、販売や資材の購入、農業機械の取扱い、経理、税務など、農業経営を営むための幅広い知識と能力が必要とされます。

自分のペースで働きたい

農業は自由に時間が使えるというイメージかもしれませんが、実際は農業は忙しいというのが実情です。天候や作物の特性で、作業が一時的に集中してしまうこともあります。

組織の中で働くのが苦手

JA部会や生産組織での様々な活動が、自分の経営の向上に繋がります。農村集落でも色々な行事への参加など、周囲の人たちとの助け合いも大切です。

農業で収入を得たい

農業を始めても、最初の収入を得るまで、また、安定した収入を得るようになるまでには、長い時間がかかります。高い栽培技術が求められます。



農業の特性を理解し、農業経営のビジョンを明確にしましょう

新しく農業を始めるということは、新たに事業を開始することです。自分がやりたいと頭の中で描いている農業のイメージを固め、相談窓口を通じて次第に具体化していくことが必要です。自分が将来「どこで、どんな農業をするのか」を就農相談、農業体験等を経て固めていきましょう。

農

業体験のすすめ



農業経験のない方は、まず実際に体験をしましょう。気になる地域はどのような所か、自分は農業に適しているのか等農作業を経験して、農業のイメージを固めましょう。

- 実際の就農に向けて、国の支援制度等を活用した農業研修を開始する前に、県や各市町村が提供する県内外から参加しやすい農業体験の場を活用しましょう。
- 県が提供する農業体験は、着実な経営開始と就農後の経営安定にとって重要です。農業体験は、短期間、中期間の2段階で開催されます。

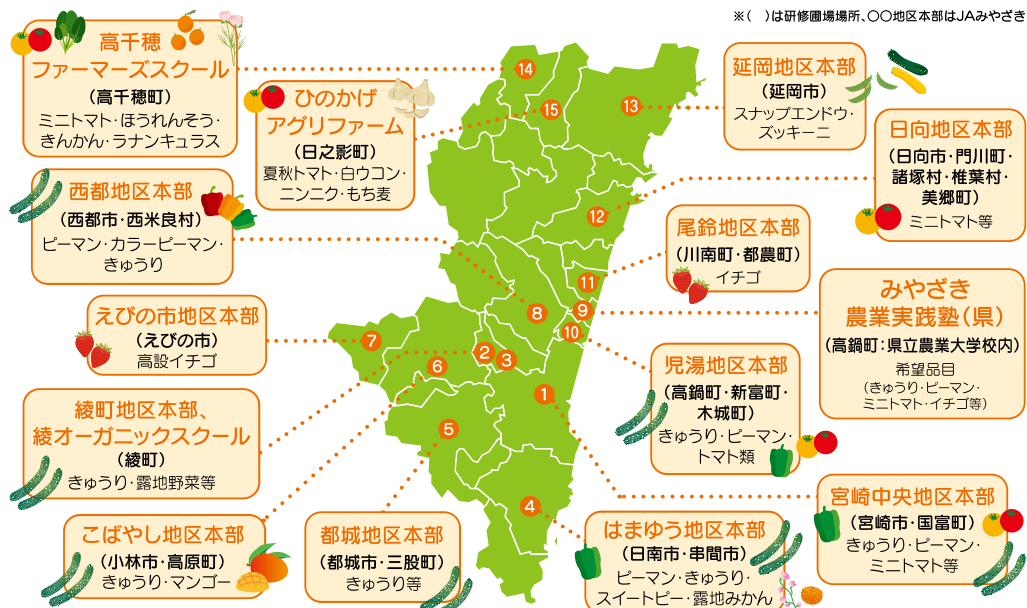
STEP1

短期(体験ツアー)：1泊2日で県内の主要産地をまわり農業を体験します。

STEP2

中期(就農体験)：収穫期等品目毎の最も重要な時期に、7~14日間程度集中して農作業を体験します。

宮崎県内のJAみやざき等研修施設



新規就農者研修受入先一覧(就農トレーニング施設等)

No	研修場所	品目	問合せ窓口	お問合せ先
1	宮崎市・国富町	きゅうり・ビーマン・ミニトマト等	宮崎中央地区本部	☎0985-89-4660
2	綾町	きゅうり	綾町地区本部	☎0985-77-1301
3	綾町	雑穀・いも・豆類・露地野菜	綾オーガニックスクール	☎0985-77-0100
4	日南市・串間市	ビーマン・きゅうり・スイートピー・露地みかん	はまゆう地区本部	☎0987-23-5155
5	都城市・三股町	きゅうり等	都城地区本部	☎0986-38-6693
6	小林市・高原町	きゅうり・マンゴー	小ばやし地区本部	☎0984-23-1676
7	えびの市	高設イチゴ	えびの市地区本部	☎0984-33-5758
8	西都市・西米良村	ビーマン・カラービーマン・きゅうり	西都地区本部	☎0983-35-4129
9	高鍋町	希望品目 (きゅうり・ビーマン・ミニトマト・イチゴ等)	みやざき農業実践塾 (宮崎農業総合研修センター)	☎0983-23-7447
10	高鍋町・新富町・木城町	きゅうり・ビーマン・トマト類	児湯地区本部	☎0983-33-0022
11	川南町・都農町	イチゴ	尾鈴地区本部	☎0983-27-1978
12	日向市・門川町・諸塚村・椎葉村・美郷町	ミニトマト等	日向地区本部	☎0982-52-6217
13	延岡市	スナッペンエンドウ・ズッキーニ	延岡地区本部	☎0982-23-1891
14	高千穂町	ミニトマト・ほうれんそう・きんかん・ラナンキュラス	高千穂ファーマーズスクール	☎0982-73-1208
15	日之影町	夏秋トマト・白ウコン・ニンニク・もち麦	(株)ひのかげアグリファーム	☎0982-73-8030

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊として働きながら3年ほどの期間、農業の知識や栽培技術を習得する方法です。一部の市町村で募集することがあります。

農業経営承継による就農



①施設園芸の場合

出し手(離農者)



譲りたい施設



施設・農地
受け手への支援
技術・施設管理

関係機関



・査定
・マッチング
・専門家派遣

県 市町村 JA 公社



受け手(新規就農者)

必要な施設



ハウス施設等



工事・補修

承継完了
技術承継 出し手からの支援

②露地園芸(果樹)の場合

出し手(離農者)



譲りたい樹園地等



樹園地・機械
受け手への支援
技術・施設管理

関係機関



・査定
・マッチング
・専門家派遣

県 市町村 JA 公社



受け手(新規就農者)

必要な樹園地



樹園地



機械

承継完了
技術承継 出し手からの支援

農業法人等に就職したい



●希望する農業法人を探し、求人に応募しよう

求人情報を収集しましょう。情報は、就農相談イベントやハローワークのHP、各農業法人のHP、民間の求人サイトなどから入手できます。また、職業紹介できるJAもあります。

農業法人で働く目的を明確にしましょう

- 農業法人で働くこと自体が目的なのか、将来の独立のためのステップなのか考えましょう。
- 作目、地域、労働条件の希望を整理しましょう。
- 勤務内容は、農作業中心か、加工、販売、事務作業が中心か明確にしましょう。



POINT 希望の農業法人を見つけたら、会社の担当者と勤務内容、勤務条件、将来像などについてよく話し合い、お互いが合意したら労働契約を結びましょう。



青年等就農計画制度



青年等就農計画とは、これから農業を始めようとする方が自らの農業経営に関する目標や必要となる施設・機械等についてまとめた就農に関する計画です。青年等就農計画制度は、この計画の認定を受けた新規就農者（認定新規就農者）に対して、資金や農地集積に関して重点的に支援するというものです。

対象者

その市町村の区域内において新たに農業経営を営もうとする青年等

- 青年(原則18歳以上45歳未満)
 - 特定の知識・技能を有する中高年齢者(65歳未満)
 - 左記の者が役員の過半を占める法人
- ※農業経営を開始して一定期間(5年)を経過しない者を含みます。認定農業者は含みません。(認定農業者とは、生産規模の拡大や経営管理の合理化などについて記載した農業経営改善計画を作成し、市町村から認定を受けた者)

青年等就農計画の認定の流れ

- 1 青年等就農計画を作成し、市町村へ提出
- 2 市町村が基本構想に照らして同計画を審査
- 3 市町村から当該計画申請者へ認定を通知
- 4 認定新規就農者となる
(市町村、都道府県等関係機関により、計画達成をフォローアップ)

独立・自営就農者を応援する制度



1 就農準備資金

次世代を担う農業者となることを志向する方に対し、就農前の研修を後押しする資金(年間最大165万円最長2年間)を交付

主要要件: 県が認めた研修機関等で概ね1年以上研修すること。就農予定時の年齢が原則50歳未満等

2 経営開始資金

次世代を担う農業者となることを志向する方に対し、独立・自営就農直後の経営確立を支援するため年間最大165万円を最長3年間交付

主要要件: 独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満で、地域計画に位置づけられる認定新規就農者等

3 世代交代円滑化タイプ

親元就農含む新規就農者等に対して、経営継承・経営発展に必要な機械設備の導入等を支援。

機械の導入・改良 補助率4分の3以内、修繕等 補助率2分の1以内。補助上限額は900万円。

主要要件: 独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満で、地域計画に位置付けられる農業者等

4 経営発展支援事業

就農に必要な機械・施設の導入等に対して、補助率4分の3以内で支援(1,000万円の初期投資に、750万円の補助。経営開始資金の交付対象者は500万円の初期投資に、375万円補助)

主要要件: 独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満で、令和6年度以降に経営を開始した認定新規就農者等

5 新規就農者チャレンジ事業

早期の経営発展を目指す新規就農者等に対して、補助率10分の3以内(リースは定額)で支援。

補助上限額は個人1,500万円、法人3,000万円。

主要要件: 65歳未満の認定新規就農者(経営開始資金の交付を受けていないこと)等

6 青年等就農資金

青年等就農計画に即して農業経営を開始するために行う機械・施設の購入等に必要資金を無利子で融資

対象者: 認定新規就農者

融資期間: 17年以内(うち据置期間5年以内) 融資限度額: 3,700万円(特認1億円)

金利: 無利子 担保・保証人: 実質的な無担保・無保証人制度

7 宮崎県農業担い手確保・育成基金事業

就農初期の経営安定を支援し定着を図るため、農地、施設、農業機械の賃借料を助成。また、就農後のフォローを行う指導者「アグリファミリー」を設置

対象者: 認定新規就農者

【お問い合わせ先】①②: (公社)宮崎県農業振興公社 ②~⑥: 各市町村 農政担当課

宮崎県就農相談窓口



● 中央における就農相談窓口(宮崎県新規就農相談センター) 相談時間: 午前9時~午後4時

総合窓口／(公社)宮崎県農業振興公社担い手支援課

【住所】〒880-0913 宮崎恒久1丁目7番地14

【電話番号】0985-51-2631・0985-51-2011



事前の予約をお願いします。
宮崎県農業振興公社
宮崎県農林センター・新規就農相談センター
https://www.mnk.or.jp/sinki/



分室／(一社)宮崎県農業会議 〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14 ☎0985-73-9211

分室／JAみやざき本店 営農部 〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1番地1 ☎0985-31-2054

● 地域における就農相談窓口

	市町村窓口		県窓口(西臼杵支庁、農林振興局)			農業協同組合	
	名 称	担当課名	名 称	担当課名	TEL	名 称	担当課名
中 部	宮 崎 市	農政企画課	中部農林振興局 (中部農業改良普及センター)	地域支援課 地域振興担当	0985-30-6121	宮崎中央地区本部	営農企画課
	国 富 町	農林振興課				綾町地区本部	生産指導課
	綾 町	農林振興課					
南 那 珂	日 南 市	農 政 課	南那珂農林振興局 (南那珂農業改良普及センター)	地域支援課 地域振興担当	0987-21-9550	はまゆう地区本部	農業振興課
	串 間 市	農業振興課				串間市大東地区本部	営農課
北 諸 島	都 城 市	農 政 課	北諸島農林振興局 (北諸島農業改良普及センター)	地域支援課 地域振興担当	0986-38-1554	都城地区本部	地域営農振興課
	三 股 町	農業振興課					
西 諸 島	小 林 市	農業振興課	西諸島農林振興局 (西諸島農業改良普及センター)	地域支援課 地域振興担当	0984-23-5105	こばやし地区本部	農業企画室 農業企画課
	えびの市	畜産農政課				えびの市地区本部	担い手支援課
	高 原 町	農政林務課				こばやし地区本部	農業企画室 農業企画課
児 湯	西 都 市	農 林 課	児湯農林振興局 (児湯農業改良普及センター)	地域支援課 地域振興担当	0983-43-2311	西都地区本部	営農支援課
	高 鍋 町	農業政策課				児湯地区本部	農産販売部 営農企画課
	新 富 町	産業振興課				西都地区本部	営農企画課
	西米良村	農林振興課				児湯地区本部	農産販売部 営農企画課
	木 城 町	産業振興課				尾鈴地区本部	営農支援課
	川 南 町	産業推進課					
	都 農 町	農林水産課					
東 臼 杵	延 岡 市	総合農政課	東臼杵農林振興局 (東臼杵北部農業改良普及センター)	地域農業支援課 地域支援担当	0982-32-3216	延岡地区本部	営農振興課
	日 向 市	農業畜産課					
	門 川 町	農林水産課	東臼杵農林振興局 (東臼杵南部農業改良普及センター)	地域支援課 地域振興担当	0982-68-3100	日向地区本部	営農企画課
	諸 塚 村	産業戦略課					
	椎 葉 村	農林振興課					
	美 郷 町	農林振興課					
西 臼 杵	高千穂町	農林振興課	西臼杵支庁 (西臼杵農業改良普及センター)	地域農業支援課 地域支援担当	0982-72-2158	高千穂地区本部	総合企画課
	日之影町	農林振興課					
	五ヶ瀬町	農 林 課					

● 県外のも就農相談窓口

窓口名	郵便番号	住 所	電話番号
宮崎県東京事務所	102-0093	東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館15階	03-5212-9007
宮崎県大阪事務所	530-0001	大阪市北区梅田1-3-1-900大阪駅前第1ビル9階	06-6345-7631
宮崎県福岡事務所	810-0001	福岡市中央区天神2-12-1天神ビル8階	092-724-6234

● 宮崎県移住相談窓口

(宮崎ひなた暮らしUターンセンター)

宮崎本部	0985-27-3685	月～金 午前9時～午後6時 (定休:土日・祝日)
東京支部	03-6273-4200	火～日 午前10時～午後6時 (定休:月・祝日)
大阪支部	06-6348-3835	月～金 午前9時～午後5時 (定休:土日・祝日)
福岡支部	092-724-6234	月～金 午前9時～午後5時 (定休:土日・祝日)